

# 民主化闘争情報

No. 913  
2014年11月5日  
発行 日本鉄道労働組合連合会  
(JR連合)

10月30日の衆議院予算委員会で安倍晋三首相が民主党・枝野幹事長への答弁の中で「革マル派活動家がJR総連・JR東労組に影響力を行使しうる立場に相当浸透している」と厳しく指摘したことは既報の通りだが(「民主化闘争情報No.912」)、11月1日、2日両日に、自身の交流サイト「フェイスブック」で極左暴力集団・革マル派とJR総連との関わり等について発信し、波紋を呼んでいる。

## 「JR総連＝殺人までする危険な反社会的な組織活動家と関わりのある団体」 安倍首相、自らの「フェイスブック」で発信

### 民主党政権の閣議決定した答弁書「JR総連に革マル派活動家が浸透」

11月1日、安倍首相の「秘書」の記事という形で「フェイスブック」で以下の記事を発信した。

さて、先般の予算委員会に於ける枝野議員との質疑の中で、安倍総理が「JR総連」や「JR東労組と革マル派」との関係性を指摘した事に対し、もっと知りたいとご質問を多数事務所にも頂きましたのでご説明します。

「JR総連」や「JR東労組」は、民主党政権が閣議決定している答弁書において「影響力を行使しうる立場に、革マル派活動家が相当浸透している」と政府として認めている団体です。更に革マル派は「極左暴力集団であり...殺人事件等、多数の刑事事件を引き起こしている」と政府は答弁書で明らかにしています。繰り返しますがこの閣議決定した答弁書は民主党政権である鳩山内閣が決定したものです。

(中略)「殺人までする危険な反社会的な組織活動家と関わりがある団体から資金の供与を受けるのは問題であり、その事を糺すのは当然ではないか」と安倍総理は述べた訳です。

以上が革マルについての質疑の要点です。

(後略)

また、当記事には、ヘルメットを被った革マル派活動家がデモ行進する写真も掲載されている。

さらに11月2日には、安倍首相は同じく自身の「フェイスブック」で、昭和49年～50年の連続企業爆破事件を記録した、門田隆将氏のノンフィクション作品「狼の牙を折れ」を紹介し、「左翼暴力集団が猛威をふるい、平然と人の命を奪った時代、敢然と立ち向かった人達がいた。その執念の物語」と語っており、連日にわたる極左暴力集団に関する首相自らの情報発信が話題となっている。

### 「とりわけ目をひいたのがJR総連政策調査部長の田城郁氏だった」

一方、11月3日、産経新聞(朝刊)に寄稿した櫻井よし子氏は、労働組合に対する所見の中で、次のように述べている。

...4年前の選挙で民主党は選挙区で大敗したが、比例では自民党に勝ち、16議席をとった。

(中略)とりわけ、目をひいたのがJR総連政策調査部長田城郁氏だった(注:現参議院議員)。JR総連は鳩山内閣が、「殺人事件など、多数の刑事事件を引き起こした」「極左暴力集団」の革マル派が「影響力を行使し得る」対象だと、正式に規定した労組だ。(後略)

JR連合の「民主化闘争」は、JRからの革マル派追放の闘いであり、この間継続的に国政に対して警鐘を鳴らしてきた。JR総連、JR東労組は革マル派浸透に関する一連の指摘に対して、見解を明らかにするべきだ。

## JR連合民主化闘争に結集し、JRから革マル派を追放しよう!